

学生の学修成果把握のためのアンケート結果報告 **※学修状況抜粋**

学生の学修成果を把握し、学生の今後の主体的な学びへの意識づけを図ることと、看護学部での教育内容を点検評価することを目的として、「学修成果把握のためのアンケート」を実施した。このアンケートは、学生へのフィードバックを行うものとして、記名式質問紙により実施した。

なお、質問項目のうち、コアとなる看護実践能力については、2018 年 6 月に提示された「看護学士課程教育におけるコアコンピテンシーと卒業時到達目標」の項目および本学部のディプロマ・ポリシーとの整合性を確認し修正するとともに、学修状況に関する項目として学修意欲、自律性に関する項目を加えた。修正した質問紙は、2019 年度の 2 学年次生に対して実施した。

1. 実施時期、対象者

各学年とも、4 月 3 日の学年ガイダンス時に実施した。

2 学年次生：対象者 107 名（1 名休学），回収 105 名（回収率 98.1%）

3 学年次生：対象者 103 名（1 名休学），回収 98 名（回収率 95.1%）

4 学年次生：対象者 106 名（1 名再入学），回収 96 名（回収率 90.6%）

**4) 学修状況について**（2 学年次生）

学修状況に関して、「1. 授業科目ごとにシラバスを確認している」と「2. シラバスに準備学修（予習・復習）が明記されていることを知っている」の項目で、「あてはまる」および「ややあてはまる」を合わせた割合は、それぞれ 81.0%と 90.5%であった。また、「9. 講義・演習の予習復習では、教科書や参考書を活用している」と「10. 準備学修は役に立っている」の項目で、「あてはまる」および「ややあてはまる」を合わせた割合は、それぞれ 81.0%と 72.4%であり、わかりやすいシラバスの作成は、学生の自主的な学修促進に有効であると考えられる。

1 日の平均予習時間は、平均値 45.6±34.8 分、中央値 30（範囲 0-180）分、平均復習時間は、平均値 52.1±39.6 分、中央値 60（範囲 0-210）分であった。学修時間は、学生による個人差が大きい結果であった。

（評価）5:あてはまる、4:ややあてはまる、3:どちらともいえない、2:あまりあてはまらない、1:あてはまらない

項目・学修状況	人数	2学年次生(n=105)						計
		評価5	評価4	評価3	評価2	評価1	無回答	
1.授業科目ごとに、シラバスを確認している	47	38	10	7	2	1	105	
	%	44.8%	36.2%	9.5%	6.7%	1.9%	1.0%	
2.シラバスに準備学修(予習・復習)が明記されていることを知っている	63	32	7	1	1	1	105	
	%	60.0%	30.5%	6.7%	1.0%	1.0%	1.0%	
3.講義・演習の予習のみを実施している	4	20	55	14	11	1	105	
	%	3.8%	19.0%	52.4%	13.3%	10.5%	1.0%	
4.講義・演習の復習のみを実施している	3	27	49	13	12	1	105	
	%	2.9%	25.7%	46.7%	12.4%	11.4%	1.0%	
5.講義・演習の予習・復習の両方を実施している	8	31	37	20	8	1	105	
	%	7.6%	29.5%	35.2%	19.0%	7.6%	1.0%	
6.講義・演習の予習・復習のどちらも実施していない	2	18	32	19	30	4	105	
	%	1.9%	17.1%	30.5%	18.1%	28.6%	3.8%	
7.講義・演習の予習に費やす時間(1日の平均時間) *( )へ数字を記入してください	平均	45.6分	SD	34.8				
	中央値	30分	範囲	0-180				
8.講義・演習の復習に費やす時間(1日の平均時間) *( )へ数字を記入してください	平均	52.1分	SD	39.6				
	中央値	60分	範囲	0-210				
9.講義・演習の予習復習では、教科書や参考書を活用している	34	51	14	3	1	2	105	
	%	32.4%	48.6%	13.3%	2.9%	1.0%	1.9%	
10. 準備学修(予習・復習)は役に立っている	28	48	24	2	1	2	105	
	%	26.7%	45.7%	22.9%	1.9%	1.0%	1.9%	

